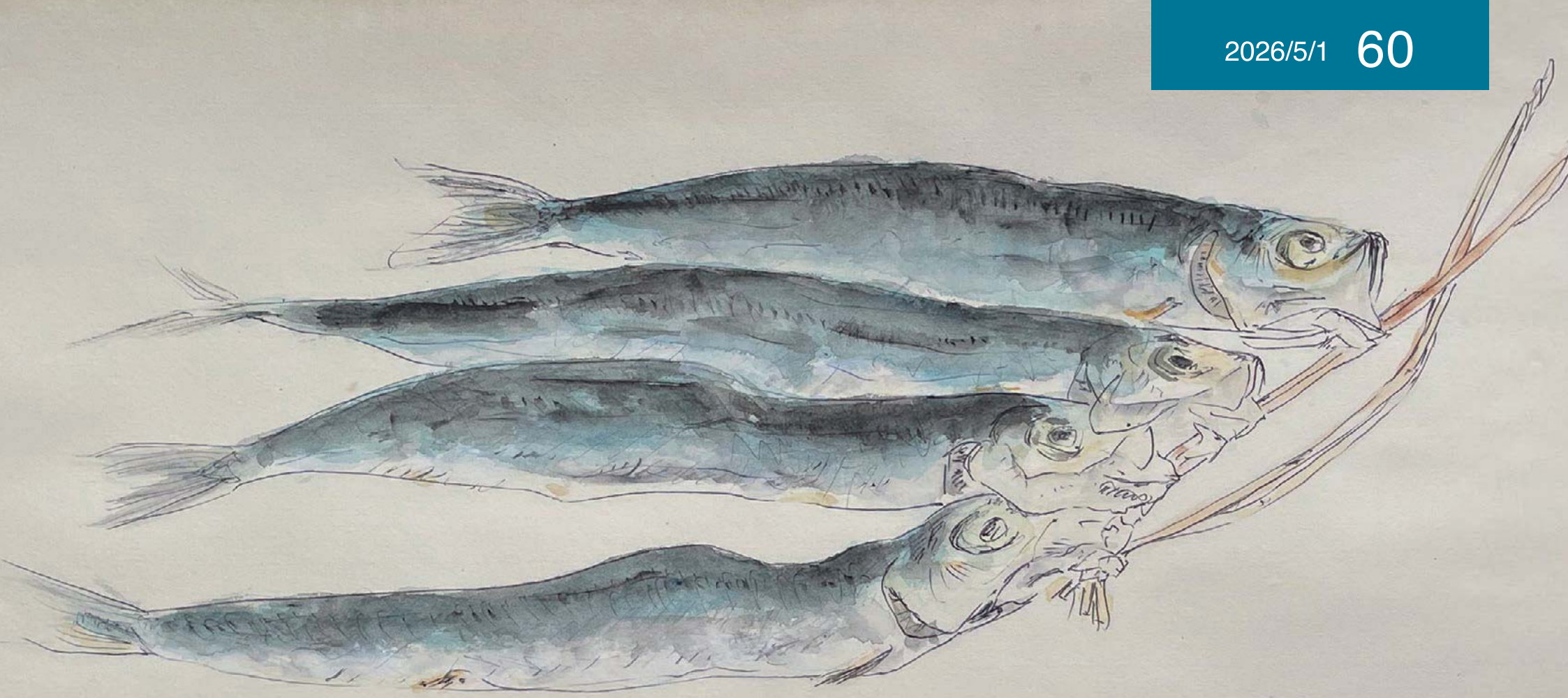
2026/5/1 60



ノートルダム清心同窓会会報

The Alumnae News of ND Seishin School

特集 母校・清心の「今」をたずねて

同窓会会長挨拶

同窓会会長
岩﨑惠子

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

学校の丘も若葉が燃え立つ頃となり、同窓会では２月に71期生174人を新たに迎え入れました。一人ひとり、希望に胸膨らませ巣立っていった新会員の明日からが幸多からんことをと祈っております。

さて、母校は昨年創立75周年を迎えました。老朽化が進んでいた旧修道院ですが、第二次大戦直後の建物として歴史的価値の高い事もあり、ジュリーホールとして改修、保存され、使用できることとなりました。旧お御堂など、当時の雰囲気を感じられる建物も残っています。ミニコンサートや茶話会などの開催にいかがでしょうか。

ジュリーホールの周囲の庭も、修道院の中庭にあった「ルルドのマリア像」を中心に整備されました。誰でも訪れることのできる庭として、生徒さんのアイディアを活かしたデザインとなっています。

また、今回の会報には、「会報の電子化について」のお便りを同封しています。

ICT機器の活用が進む中、委員総会等でご意見をいただき、同窓会でも郵送コストの削減、迅速な情報システム、ペーパーレス化による環境負荷軽減などを踏まえ、さまざまな検討を進めています。

同封の「電子化について」のお便りをご熟読いただき、電子化にご同意の上ご連絡いただいた方について、翌年度の会報から郵送を終了いたします。従来通り、郵送の会報も発行いたしますので、郵送をご希望の方は特段のご連絡は不要です。

同窓会名誉会長挨拶

ノートルダム清心中・高等学校学校長
永山　弘

この春、本校はあらたに77期生を中学１年生として迎えました。75年にわたり積み重ねられてきた歩みの上に、次の世代が確かに引き継がれていることを感じております。そしてその75年の節目にあたり、昨年11月には、創立75周年記念式典ならびに、旧修道院をリニューアルした「ジュリーホール」の竣工式を、皆さまのご支援のもと無事に執り行うことができました。創立以来大切にしてきた「心を清くし　愛の人であれ」という理念を、あらためて心に刻む機会となりました。

旧修道院をリニューアルしたジュリーホールは現在、生徒・教職員に加え、同窓会の皆さまや保護者、外部の方々にも開かれた、「祈り」と「学び」と「出会い」の場として活用されています。

今後も積み重ねられた歴史に支えられながら、生徒一人ひとりの成長に心を尽くしてまいります。同窓会の皆さまの変わらぬご支援を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

表紙のことば　14期　伊賀　泰恵（山田）

旅先で、買い求めた一連の鰯です。
ちょっとした迫力に思わずスケッチしてみたくなりました。
こんなに干からびた形に変わっても、一層長持ちして逆に美味しくなるのですね。

日々忙しく生活していると、ゆっくり画材を広げて作品を仕上げることは難しいけれど、目の前にある何の変哲もないものに魅かれて写し取ってみるのは楽しいことでした。

個人情報の取り扱いについて

登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意がある時および会長が必要と認めた時以外は開示しません。

ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来通り受け付けます。

第70回　同窓会総会

日時 ▶2025年８月３日(日)
場所 ▶ANAクラウンプラザホテル広島
幹事 ▶48期 57期

昨年８月３日（日）、第70回同窓会総会が開催されました。第１部は「マザージュリーの歌」からはじまりました。岩﨑会長からは「この春に同窓会は70期生を迎え、同窓会として70年となりました。同窓会の人数も１万人を超え、だんだん賑やかになってきています。同窓会の目的は３つあり、同窓生の皆さまの幸せ、母校の発展の手伝い、そして社会への貢献。この３つの柱を中心に動いております。クラブ活動や勉強会、福祉にも力を入れているところです。５月のバザーは、年々暑くなってきていることもあり、できるだけ皆さまの負担が少なくなるような方法にしていきたいと考えております。いろんな意味で時代とともに学校も同窓会も変わっていかなくてはと思っておりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。」とのご挨拶がありました。続いて、永山校長から「このような盛大な会にお招きくださり、本当にありがとうございます。本校の近況としては、このたび箏曲部が全国大会で８位入賞を果たしました。ベスト８は毎年常連校ばかりだったのですが、今回初めて本校が入賞、しかも広島県では初めてのことでした。また、旧修道院が、耐震を含め形を変えて生まれ変わっております。学校関係者、生徒や教員だけでなく、保護者の方や同窓生の方にも自由に使っていただけるような宿泊の部屋もあります。外構も生徒のアイディアを生かした庭づくりをしていますので、ぜひお越しいただければと思います。これからも、お互いにノートルダムファミリーとして、学校も頑張っていきますので、今後とも見守っていただきたいと思います。」とのご挨拶がありました。

次に、2024年度事業報告、決算および監査報告を行い、2025年度の予算が承認されました。続いて、永年勤続の先生方の表彰が行われ、松本茂樹先生、シスターメリーコリピオ、木場篤先生のご挨拶があり、第１部を閉会しました。

第２部では、まず、白井朝香さんによるシターの演奏と益田由身子さんの独唱が披露されました。シターが奏でる優しい癒しの音色と、美しい歌声がとても素敵でした。次に、在校生の活躍として、2024年度NHK杯全国高校放送コンテストのテレビドキュメント部門で全国優勝を果たした高校放送部の作品「同じ地面を踏みしめて」を視聴しました。そして、同窓会コーラスの合唱が披露されました。温もりのある歌声が響き合い、会場が感動に包まれました。

第３部は恩師を囲んでの昼食・歓談の後、最後に出席者全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。

今回の同窓会総会では、会場の後方で広島東洋カープとのコラボグッズであるＴシャツやトートバッグ、旧聖堂でレコーディングされたCD「ノートルダム修道会の音遺産～シターと歌う聖母への祈り～」など、学生時代を思い出して心が弾むようなグッズが多数販売されており、購入される参加者の方々で賑わっていました。恩師との語らいに笑顔が咲いたり、母校の今や後輩の活躍に元気をもらったりと、懐かしく心温まるひと時を過ごすことができました。

最後になりましたが、幹事の皆さま、大変お世話になり、ありがとうございました。

学園関係物故者　慰霊祭ミサのお知らせ

毎年ノートルダムホールにて学園関係物故者慰霊祭ミサが行われます。

同窓会本部にご連絡いただいている同窓生の物故者の慰霊も一緒にしていただいております。

クリスマスミサのご案内

毎年12月24日16時より、学校でクリスマスミサを行っています。

2026年度もクリスマスミサを行います。同窓会HPや学校HPでお知らせいたしますので、ぜひご参加下さい。ご一緒に主の御降誕をお祝いできることを楽しみにしております。

お元気ですか

西山和之 先生（化学科）

皆さま、ご無沙汰しております。いかがお過ごしでしょうか？といっても私のことをご存知ない卒業生の方も多いと思いますので自己紹介。清心には1998年４月から2013年３月まで在職させていただきました。最初の１年は非常勤講師として、以降は専任として15年間、化学科の教員として、ソフトテニス部の顧問として20代、30代を過ごさせていただきました。授業を担当したのは45～59期かと思います。また、52～59期までは（全てではないのですが）クラス担任としても関わらせていただきました。

現在は広島大学附属福山中高等学校に勤めています。時がたつのは早いもので、清心で過ごした時間と福山で過ごしている時間が同じぐらいになってきました（今50代です）。相変わらず化学の教員とクラス担任をほぼずっとやっています。その間、教育実習や研究会などでお会いした卒業生の方もいらっしゃいます。クラブは硬式テニスです。また、プライベートではいわゆる「令和婚」をしました。現在、住まいは相手の事情により岡山市です。岡山城の近くから福山まで通勤しています。また、兵庫県にある実家が農家で、米作りを細々と続けています。両親がだんだん年老いていき、自分が中心になってやっています。

ということで、あまり広島市内に行くこともなくなったのですが、昨年、担任をしている中学２年の遠足で平和公園に行きました（福山から行くのは２回目でした）。清心で中１の担任をしていたとき、主任をしていただいた多賀先生や神垣先生、三宅先生から学んだことを思い出しながら、企画、運営をしました。中国軍管区司令部跡は中に入れなくなり、逆にレストハウス地下は、以前は許可制でしたが、現在は展示室として予約無しで見られるようになっていました。一緒に行った生徒たちも、熱心に見ていました。清心で学ばせていただいた事柄やマインドは忘れずに今に活かそうとしていますが、まだまだ未熟だなと思うことも多々ありながら、日々、頑張っています。

関東支部だより

2025年６月29日（日）、品川にて関東支部同窓会を開催しました。広島から永山弘校長先生、竹舛さやか先生、岩﨑惠子同窓会長をお迎えし、８期から54期まで計33名が参加しました。

永山校長先生からは新聖堂や新制服についてのお話がありました。お姉さん方から「私の頃はプリーツスカートでした」「体操服は手縫いでした」など思い出話が広がり、歴代制服の話題で盛り上がりました。

竹舛先生からは新図書室や引越しの様子をスライドで紹介いただきました。また、「清心での一年間」の動画上映では、自分たちの学生時代を懐かしく思い返しながら、現在の清心生の姿を知ることができました。

同窓生の「こんなことしてます」では、パレスチナ女性支援活動や商品開発、舞台出演など、多方面で活躍する同窓生の姿に刺激を受けました。最後に校歌を合唱し、清心の絆を改めて感じる会となりました。次回は2027年開催予定です。

〈関東支部連絡先〉
関東支部長 37 期 真壁直子（北村）

「ノートルダム清心中・高等学校同窓会関東支部」
Facebook グループページ

〈関西支部連絡先〉
関西支部長 14 期 居藤信枝（大越）

タイムカプセル

2025年11月３日（月・祝）、クビリーホールでタイムカプセルの開封式が行われました。

この企画のはじまりは1999年、清心学園50周年に立ち上がったタイムカプセル作成企画にさかのぼります。さらに時をたどると、25周年の節目にもタイムカプセルが作られ、その開封が1999年５月の学園祭で行われました。「次の25年へ」という思いを込めてタイムカプセル委員が発足し、同年12月21日、在校生から集めた思い出の品々を大切に収めました。

本来は2024年に開封される予定でしたが事情により１年遅れての実施となりました。開封式当日は45期から50期が集まり、参与の神垣先生、温田先生をはじめ、当時を知る懐かしい先生方にもご参加いただきました。実行委員である46期の卒業生がトランクを開け、色紙や写真が取り出されると、会場には懐かしさと喜びの声があふれました。当時の状況や経緯を詳細に記した資料、在校生のアンケートなども保管されており、委員だった宮本真衣さん（46期）からは「資料を見て当時のことを思い出しました」とのことでした。式の最後には、75周年を記念して在校生が制作したタペストリーとともに、全員で記念撮影をしました。

タイムカプセル委員の金川奈央さん（46期）からは「開封にあたって、グループメールを作って、同期で画像を共有するなど、多くの仲間がつながることができてよかったです」とコメントをいただきました。中の品々は各期で大切に保管されますが、一部は新しくなったジュリーホールに保管される予定です。ジュリーホールを訪れれば、25年前から届いた温かなメッセージに出会えるかもしれません。

おめでとうございます

永年勤続表彰

松本茂樹 先生
30年（数学科）

このたびの同窓会総会では、勤続30年の表彰をいただきまして、ありがとうございました。

思えば、私がノートルダム清心中・高等学校に奉職した1995年は、阪神大震災、地下鉄サリン事件等々、色々と大きな出来事が多かった年でした。また、同窓会の挨拶でも触れさせていただきましたが、今年は被爆80年、ということは、1995年は、被爆50年ということになります。

改めて振り返ってみると、色々なことがあったものだと思いますが、当時の自分は余り深く考えていなかったような気もします。そして、就職したときは30年も後のことなど想像もしていませんでしたが、色々と失敗を繰り返しながらもここまで来ることができました。これもひとえに周りの多くの方々のおかげと感謝しております。そろそろ色々な意味でゴールが見えてきましたが、ラストスパートで頑張ろうと思います。

大平哲也 先生
30年（数学科）

この度は永年勤続表彰を有り難うございます。早いもので、清心に勤め始めた頃、ベテランでいらっしゃった山﨑先生や今﨑先生と変わらない年になってしまいました。勤め始めた頃の生徒たちが、現在は生徒の保護者となっていて、懐かしさを感じながらの日々を過ごしております。

クラブ活動では、20年以上山岳部を担当しています。当初は何をするのか分からず、生徒と一緒に活動することから始まりましたが、何とか生徒に指導ができるところまで成長し、全国大会で上位入賞できるまでになりました。

今後も、生徒と共に学び、成長していくことができるよう、日々精進してまいります。

木場篤 先生
20年（社会科）

この度は永年勤続表彰を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

気付けば、人生の半分近くを学園とともにしており、先輩や同僚の先生方からの暖かいご指導、生徒・保護者・卒業生の皆さまからの励まし、家族の支えがあって今があるのだと実感しております。

「不確実性の時代」ともいわれる中、この20年で教育を取り巻く環境は大きく変化しました。私の座右の銘でもある「初志貫徹」の精神で、今でも貪欲に学びに向かっていますが、年齢的に、自ら得た学びに対して、若手の先生を支える形で還元するよう自覚せねばならないと感じているところです。これまでに学園に育てて頂いた御恩を忘れず、今後も教育活動に邁進していく所存です。

これからの学園ならびに同窓会のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

Sister Mary Corripio 先生
10年（英語科）

The other day I was at the ending ceremony for our first ever “First Semester.” As the students sang the St. Julie song, I had a feeling like I was getting a peek into the mystery of time. There we were, doing something new and still participating in the grand flow of a story that began much before us and will continue on after us. Over these ten years at Seishin, I have felt that connection with the past as I am walking in the footsteps of the unforgettable Sister Mary Connelly, and I see the connection with the future as I have witnessed the renovation of the old convent into “Julie Hall” and its new programs. The Seishin story has deep roots in the Julie Story, which is rooted in the Jesus story. May our good God continue blessing this school, its students, staff, and alumnae, now and always.

藤谷幸治 先生
10年（国語科）

今回、永年勤続表彰を賜り感謝申し上げます。

私が清心に来て最初に思ったのは、正しいことが正しいとはっきり言える学校なんだということです。また先生方も皆、真面目なのにも驚きました。

私が好きなカトリックの教えは、「他者の喜びを自分の喜びとする」です。自分の欲望は際限ないですが、自分が行ったことで誰かが喜んでくれると満たされます。私も生徒の喜びを自分の喜びとして歩んでいきたいと思います。

私たちのミッションは、偉くなったり、リーダーになったりするだけではありません。失敗することで他の人を安心させることもあります。私は能力もなく意志薄弱ですが、一生懸命生きている姿を生徒に見せていきたいと思います。

同窓生の活動

ユ リ ア 会

春分の日前後に開いていたOG信者の会「ユリア会」がしばらく休会状態です。旧修道院改築（ジュリーホール）が完成しましたので、来春には開催できればと思っております。その際は、同窓会＆学校HPでお知らせいたします。

清心なでしこ医会

同窓医師の会です。年に１回の総会・講演会・懇親会、学園祭での骨密度測定、在校生の健康診断への出務が主な活動です。

2025年には43期の櫻井一穂様に“清心放送部が目指すもの”という演題でご講演をしていただきました。NHK杯全国高校放送コンテストのテレビドキュメント部門で優勝された後輩の方々や、指導された先生方のご様子も拝見できました。

新規会員を募集中です。同窓生ならではの意見交換もでき、とても有意義な会です。皆さまの入会をお待ちしています。

〈連絡先〉なでしこ医会事務局　　お問合せ　同窓会事務局　TEL082-271-1724

コ ー ラ ス

私たちは月２～３回金曜日の午前中に20名程度で練習しています。ある時は昔懐かしい曲や、今流行っている曲を歌い、またある時は若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。歌の好きな方は一緒に歌いませんか。

〈連絡先〉９期　石橋秀子（井上）　　お問合せ　同窓会事務局　TEL082-271-1724

なでしこの会

第40回記念なでしこの会展、2025年６月、開催しました。たくさんのご来場、応援、ありがとうございました。

いつもの広さの２倍の会場で、なでしこメンバーに加え、メンバーの家族も出品し、54名、作品約100点の、大展覧会となりました。

会場は、連日、笑顔が溢れて、作品鑑賞に加え、恵みあふれる親睦の場となりました。40年も続いてきたなでしこの会展を、誇りに思います。

持続は力！清心生の豊かな力！神様に感謝します。　〈連絡先〉23期 渡邉紀久子（鎌田）お問合せ　同窓会事務局　TEL082-271-1724

英語を楽しむ会

訪日外国人が急増、英語に慣れて少しでも異文化に柔軟な対応できるように教材を選んでいます。　① 被爆80年、「Wish for Peace」平和の願い（アポロン出版）で、オバマ大統領の広島スピーチin 2016を再読しました。歴史研究家 森重昭さん建立の米兵捕虜の慰霊碑（中区 基町）　そして、クエーカー教徒T.シュモーが、原爆犠牲者のため建て（1949～60）現存する“シュモーハウス資料館”（中区 江波）を訪ねました。②「ロングパドルの人間模様」で、イギリス古典ハーディ文学に触れました。③ 西洋の文学・美術・思想のルーツである「ギリシャ・ローマ神話集」（Richard Goodman）に、今なお豊かな人間性と精神文化を見出せます。④ 放映中の朝ドラ“ばけばけ”の「小泉八雲名作集」（英光社）に挑戦しています。

LINEグループで、日々の気になるトピックスをup、共有しています。タクラ先生に学びながら、英語を楽しみませんか。

〈場　所〉合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市中区袋町）

〈期　日〉第１・３水曜日 13：30～15：30　　〈連絡先〉13期　古屋敏子　　お問合せ　同窓会事務局　TEL082-271-1724

ミスター・タクラの英会話

毎月第２・第４木曜日13：30～15：20　合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市中区袋町）３階で、タクラ先生ご指導のもと楽しく活動しています。

まず、一分間スピーチ。皆さま好奇心旺盛な方々で、毎回興味深いテーマを聞くことができます。例えば、平和公園で外国人観光客にガイドしている小学生佐々木駿君のことなど。

その後、先生からSNSでいただいたトピックスについて意見を述べ合います。

清心時代に培った英語力をブラッシュアップさせたい方、お気軽にご参加ください。オンラインでのご参加も大歓迎です。

なお、この活動は広島市いきいき活動ポイントの対象です。　　文責　13期　随木幸恵

〈連絡先〉21期　坂尾美奈子（上田）　　お問合せ　同窓会事務局　TEL082-271-1724

2025年５月24日（土）25日（日）に、「ソーダ」をテーマに、学園祭が行われました。「そうだ！」という生徒それぞれのひらめきが活き、ソーダのように笑顔の弾ける楽しい学園祭になりました。

お忙しい中、快くお手伝いくださった同窓生の皆さま、会場にお越しくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。（○は責任期です。）

次のバザーは、2026年５月23日（土）24日（日）です。開催につきましては、学校ホームページにてご確認をお願いいたします。

マイショップコーナー（土）

23・25・26・27

マイショップコーナー（日）

24・28・29・30

寄贈品販売（土）

33・31・32・35・36

寄贈品販売（日）

34・37・38・39・40

うどん・おむすび（土）

41・42・45・49・50・54

56・59・61・63・65

うどん･おむすび（日）

43・44・47・51・52・53

55・58・60・62・64・66

お茶・水（土）

67・68

お茶・水（日）

69・70

マイショップ出店のご案内

バザーにご自身のお店を出してみませんか？日頃仕事や趣味で手づくりされている作品にご自分で値付けして販売し、売り上げの一部を同窓会にご寄付頂いています。

お問い合わせは同窓会事務局まで。

TEL　082-271-1724（平日10時～13時）　E-mail　dousoukai@hiro-seishin.ed.jp

同期会だより

９期

開催日▶2025年10月16日（木）　場所▶ホテルグランヴィア広島
寄稿者▶９期　幹事一同

９期生は東京、関西、福岡、そして遠くはドイツ、アメリカから34名の参加者を迎え、10月16日にホテルグランヴィア広島にて「傘寿の会」を開催しました。これまでに永眠された15名の方々に黙祷を捧げ、各自の近況報告、会食、そして４名の有志による美しいオカリナ演奏に心を癒されました。

広島にとっては特別な年、昭和20年から21年に生を受けた私たちが、それぞれの場所で、それぞれの生き方を大切に守り続けられたことを喜び、感謝し合いましたが、かけがえのない３時間はあっという間に過ぎ去ってしまいました。

今回参加されなかった方も誘って、また近いうちに元気で再会することを約束し、会場を後にしました。

11期

開催日▶2025年11月16日（日）　場所▶三原国際ホテル
寄稿者▶11期　戸谷美代子（藪根）

11月16日、コロナ禍後初めての同期会を三原で開催しました。

３組174名のうち124名に葉書を出し、返事は電話かメール返事でお願いしました。

その内30名から返事があり、10名が参加しました。

広島市内ではなかった事と80歳近い年齢という事もあり、予想通りの少人数での同期会となりました。

現在の生活、家族のこと、清心時代の思い出、将来のことなどの話に花が咲きあっという間に時間が過ぎ、集合写真を撮ることも忘れてしまいました。

初めての幹事で熟考の末、往復はがきではなく、メールか電話で出欠返事を頂く事にしました。80歳近い会員からきちんと返事が届くか不安でしたが、意外に丁寧な詳しいお断りの返事を頂き、有難く思いました。

人生終盤に近づき、これからは度々開催しようと約束し散会しました。

次回は広島市内で開催予定です。

12期

開催日▶2025年７月３日（木）　場所▶ホテルメルパルク広島
寄稿者▶12期　小路文江（中川）、大畠波枝（後藤）

2025年７月３日（木）、メルパルク広島で７年ぶりの同期会を開催しました。37人の参加でした。

会った瞬間から、懐かしさの歓喜にあふれ、旧姓で呼び合うことにしたことも

あって、あっという間に「清心時代の中・高校生」に戻ることができました。はじめに集合写真をとり、次に、志半ばにして亡くなられた担任だったシスターエステルと同級生10人のご冥福を祈り黙とうをしてからの開会でした。

前回（2018年）の同期会からこの間、コロナ流行、戦争勃発、豪雨災害被害等あり、こうして平和で平穏に集えることの幸せと感謝を感じながらの今回の開催でした。私たちは今年度、77歳、喜寿ですから、近況報告は、今まで以上に、熱く深く長く語り合い、あっという間に時間が過ぎてしまいました。SNS交換が活発だったのも新鮮な光景でした。

最後に、次の役員を選出し、校歌を合唱し、出欠返信で「同期会の今後」についてアンケート記入をしてもらった結果にもとづき、「12期同期会としては、あと一回、80歳傘寿の年に開催する！」ことを約束して散会しました。

26期

開催日▶2025年10月25日（土）　場所▶ANAクラウンプラザホテル
寄稿者▶26期　水内映子（伊東）

今年、入学50年を迎えた私たち26期は、「出会って50年久しぶりに集まろうや」と10数年ぶりの同期会を開催しました。

転校した方にも連絡をとり、２名参加となりました。

当日は午後からあいにくの雨でしたが、34名の参加で学校見学会を行いました。

神垣先生にご案内いただき、ノートルダムホールや改修されたお御堂、前日に工事完了したルルドのマリア像前の庭園などを見学しました。

夕方からは場所を変え、中１の担任だった渋谷（社河内）先生をお迎えし総勢74名の宴会となりました。地元だけでなく、関東、関西、海外からも参加がありました。

全員に１分位でコメントをお願いしましたが、言いたいこと満載で時間オーバー。尽きることない話で盛り上がり、次の開催が楽しみになりました。

68期

開催日▶2025年１月12日（日）　場所▶シェラトングランドホテル広島
寄稿者▶68期　田子ひかり

成人式前日の１月12日、68期生の同期会をシェラトンホテル宴会場にて開催しました。普段から連絡を取り合っている友人も多い一方で、久しぶりに顔を合わせる同級生もおり、当時を思い出すような懐かしい時間となりました。大学での生活や近況を語り合いながら、在学中の思い出話にも自然と花が咲きました。

当日は、学年団の北野先生、稲田先生、安藤先生、下平先生にご臨席いただき、私たちに温かい励ましのお言葉を掛けてくださいました。ビンゴゲームなどの催しもあり、和やかで楽しい会となりました。

特集　母校・清心の「今」をたずねて

時代の変化に合わせて、制服の変更や新施設の誕生など、ノートルダム清心中・高等学校にも多くの変化がありました。
今回はその中から代表的なものについてご紹介いたします。

制服

清楚な清心の雰囲気を変えないまま、機能性の充実を目指し、制服が変更されました。

紺色のカーディガンの代わりにジャケットが導入され、冬の制服もカフスと付け襟のワンピースからジャンバースカートになるなど、少しずつ変更されています。また、全国的にも導入が増加しているスラックスについても、この度の制服の変更に併せて導入されました。

靴についても、ローファーに加え、真っ黒なスニーカーなどでも登校できるようになり、カバンについても、機能性と軽量化を重視したリュック型に変更されています。

また、靴下の丈が短くなり、お馴染みの三つ折りではなくなりました。

ノートルダムホールとジュリーホール

本校の敷地内には、新たな歩みを象徴する建物が誕生しました。ノートルダムホール（新講堂）は、全校生徒が集まれる場として建設され、2018年２月に落成しました。約1,200名を収容するホールのほか、小聖堂や図書館などを備え、式典や行事の場として活用されています。

次に、ジュリーホール（旧聖堂）についてご紹介します。修道院は2017年以降空き家となり老朽化が進んでいましたが、本校創設の原点であり歴史的価値の高い建物であることから、2024年より一部を保存・改修し、残りを解体する計画が進められました。改修にあたっては、建築に関わる卒業生有志の会「なでしこ建築会」や、ジュリー教育基金など、多くの同窓生のご尽力とご支援をいただきました。2025年４月に完成し、新たな祈りと活動の場として大切に受け継がれています。

ルルドのマリア広場

ルルドのマリア像はもともと修道院の中庭にありましたが、修道院の解体工事を行った際に、たくさんの方がマリア様のもとに訪れることができるような庭を、ということで造られました。

審議会を通して生徒に庭園デザイン募集の呼びかけが行われ、40人以上（グループも含め）から応募がありました。

食堂

食堂は、閉鎖された短大の校舎を中高で有効利用しようと2004年に開業。当初は平田夫妻により運営されていましたが、現在は業者に運営をお願いしています。

スマホ・ペットボトル等

ノートルダムホールに自動販売機が2023年に設置されたことにより、生徒たちもペットボトルの持ち込みができるようになりました。

また、スマートフォンの所有、校内持ち込みも許可されました。2010年代にはキッズ携帯の保持は許可されていましたが、年齢制限により中学生の契約ができなくなったことや公衆電話の減少、災害時の安全確保といった社会の変化や保護者の要望を受け、スマートフォンの所有を認めることとなり、2024年から校内への持ち込みも可能になりました。生徒たちは朝登校すると、電源を切るか、機内モードにしてロッカーに入れ施錠します。テスト期間中は朝のSHRで回収し、鍵がかかる部屋で管理し、その日の終礼で、返却しています。

さらに2019年のGIGAスクール構想、そしてコロナ禍に突入し、iPadを活用した学習が本格的にスタート。時代のニーズに応えながら、より良い学習環境を整えています。

2025年度 在学生大会報告

【箏　　曲】高校箏曲部
・第49回全国高等学校総合文化祭　日本音楽部門　優良賞（ベスト８）
【山　　岳】高校山岳部
・令和７年度全国高等学校総合体育大会登山大会　４位
【陸　　上】高校陸上部
・第78回中国高等学校陸上競技対校選手権大会
　女子100m　第８位入賞、女子200m　準決勝進出、女子400m　準決勝進出、女子４×400mリレー　準決勝進出
【ク ラ ギ タ】中高クラシックギター部
・令和７年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール　優良賞受賞
【水　　泳】高校水泳部
・第73回中国高等学校選手権水泳競技大会　女子４×200m　フリーリレー出場
・第13回中国高等学校新人水泳競技選手権大会　800m自由形　第８位入賞
【水　　泳】中学水泳部
・第65回広島県中学校水泳競技選手権大会（競泳の部）　100m自由形　第５位、50m自由形　第６位
【囲　　碁】高校囲碁部
・第49回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会　広島県大会　団体戦　優勝
・第49回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会　全国大会　団体戦　出場
【古典文学研究部】高校古典文学研究部
・第49回全国高等学校総合文化祭　小倉百人一首かるた部門　ベスト16
・第28回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会　第三位
【合　　唱】高校合唱部
・第７回東京国際合唱コンクール　カテゴリーＳ学校合唱部部門　金賞　部門２位
・第92回NHK全国学校音楽コンクール　中国ブロックコンクール　銅賞
・第64回中国合唱コンクール　銀賞
【放　　送】中高放送部
・第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト　全国大会出場　アナウンス部門、全国大会出場　朗読部門
・第72回NHK杯全国高等学校放送コンテスト
　全国大会準決勝進出　テレビドキュメント部門、全国大会出場　ラジオドキュメント部門、全国大会出場　創作ラジオドラマ部門
・第36回広島県高等学校放送文化コンクール
　ビデオメッセージ部門　最優秀賞（広島県教育委員会賞）・第１位
　アナウンス部門　最優秀賞（広島県教育委員会賞）・第１位
【演　　劇】高校演劇部
・第65回広島県高等学校総合演劇大会　金賞（広島県教育委員会賞）
・第63回中国地区高等学校総合演劇大会　優良賞　創作脚本賞

（2025年12月31日現在）

なでしこ通信

53期　星川　明江

23年、日本が議長国を務めたＧ７貿易大臣会合（大阪）にてＥＵの閣僚を案内しました

日ＥＵ関係50周年を記念して

ベルギーと聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。チョコレートやワッフル、あるいは（清心生には耳なじみのある）ナミュールでしょうか。首都ブリュッセルは「欧州政治の心臓部」とも称され、EU関係機関やNATO本部、多くのNGOや企業が集まる、世界有数の外交都市です。

私は2021年に経済産業省から外務省に出向し、外交官としてこの地に赴任しました。ロシアによるウクライナ侵略、米国との経済的・政治的摩擦、中国への経済的依存など、国際情勢が混迷し地政学的リスクが高まる中、法の支配や民主主義といった価値を共有する日本とEUの連携は、これまで以上に重要性を増しています。貿易や産業、経済安全保障の分野で協力を具体化し、日本の国益に貢献することが私の任務です。中学時代、英語の補習の常連だった私が外交官になるとは夢にも思いませんでしたが、「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を胸に、国際政治の舞台裏を垣間見る希有な経験を楽しんでいます。

ジュリー教育基金について

2025年に創立75周年、また2024年にはノートルダム会日本宣教100周年という大きな節目にあたり、ジュリー教育基金(一口5,000円)のご協力をお願いしております。用途は、1．「ジュリーホール」（旧修道院）等の維持・整備　2．教育施設・設備の充実　3．奨学金制度の拡充　4．周年記念事業費用の４項目です。４口以上の方には返礼品もご用意しています。皆さまからのご支援をいただき、2025年度には「ジュリーホール」の改築が完成いたしました。新しく生まれ変わったジュリーホールと庭園（「ルルドのマリア広場」）にもぜひお越しください。

同窓生の皆様へ

同窓会総会のご案内

ノートルダム清心中・高等学校同窓会
会長　岩﨑惠子

新緑の候、同窓生の皆さまには、各方面にてますますご活躍のことと存じます。

さて、2026年度同窓会総会を下記のとおり開催いたします。懐かしい先生方、同級生と久しぶりにお顔を合わせて、楽しいひとときをお過ごしください。

ご友人同士、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

記

日時：2026年８月30日（日）11:00～14:00
場所：ANAクラウンプラザホテル広島
（旧全日空ホテル）
広島市中区中町７-20　TEL(082)241-1111
会費：8,000円（当日会場受付にてお支払いください）
学生は半額（4,000円）です。

総会次第

◎第一部　総会
◎第二部　コーラス
49期伊藤やよいこさんによる講演
「美容医療ってなにしてる!?」
◎第三部　恩師を囲んでの歓談（昼食）

出席される場合は、**同封のハガキまたは出席者フォーム**にてお知らせください。出席者フォームへは以下の二次元コードからアクセスできます。

準備の都合上、出席のお知らせは8月1日（土）までにご連絡ください。なお、8月15日（土）以降の出席の取消については会費を徴収させていただきますので、ご了承ください。

今年度総会の幹事は49期、58期です。
〈連絡先〉**同窓会事務局**
TEL(082)271-1724
（月～金　10時～13時）
E-mail　info@seishin-dosokai.com

出席者フォームはこちら

〔同窓生の皆さまへ〕

◆同窓会へのご質問・ご連絡はこちらまで　E-mail　info@seishin-dosokai.com
◆執行部役員を募集しています。ご連絡ください。
◆新型コロナウイルス感染症の状況によって予定変更の可能性があります。各連絡先にご確認ください。

◆こちらもご覧ください
ノートルダム清心中・高等学校ホームページ

ノートルダム清心中学校・高等学校 Instagram、Facebook、YouTube には上記学校ホームページトップの最下段にある各アイコンからお入りください。

ノートルダム清心中・高等学校同窓会ホームページ
※住所・氏名変更の際はこちらの HP「住所変更申請フォーム」より手続きしてください。

会報誌 電子版

◆バックナンバーもこちらからご覧いただけます。

編集委員

51期　伊折千佳、石橋はるか、岸村有記、坪井英子（右田）
52期　大川聡美（下田）、棚橋梨奈（熊野）
53期　亀山沙紀（鍵山）、松本恵子、渡邉祥子

編集後記

本号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。今号では創立75周年を記念し、校則や施設の移り変わりを特集いたしました。2018年に完成した新ホール・新聖堂・新校舎、そして歴史ある旧聖堂の改修保存。スマートフォンの許可やiPadを活用した授業の導入。長きにわたって己妻の山の上にたたずむ清心にも、時代に応じた新しい息吹が感じられます。ページをめくりながら、懐かしい記憶が蘇った方も多いのではないでしょうか。ただ、変わるものもあれば変わらぬ価値もまた存在します。生徒一人ひとりを大切に育む精神は、75年間変わることなく受け継がれてきたことを強く感じました。今回の取材を通じて、私たち編集委員も改めて母校への感謝の念を深めました。

最後になりましたが、原稿依頼に快く応じてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。今後も同窓生の絆を深める一助となれるよう、編集委員一同努めてまいりますので、次号もどうぞお楽しみに！

（編集委員一同）